

みくびびだより

平成15年 6月20日

御首神社社務所



御挨拶

謹啓 深緑の候、皆様方には愈々御清栄のことと拝察致しお慶び申し上げます。

天皇陛下におかせられては、旧臘二十八日東京大学医学部付属病院で前立腺に癌細胞が確認されましたが、一月十八日ご手術も無事成功され二月八日に目出度くご退院の運びとなりました。この間当神社に於きましても、ご入院からご退院まで陛下の病氣平癒の祈願祈祷を奉仕させて頂きました。

ご退院後僅か十日の二月十八日より御公務に復帰なされるなどご予定より早くのご回復はこの上ない喜びでございます。両陛下主催の春の園遊会には非常にお元気で、出席者に優しくお声をかけておられるお姿を拝見させて頂き、国民の一人として安堵致しております。

天皇陛下ご入院の間皇太子殿下には、青森県での「アジア冬季競技大会」にご臨席なされ、又京都での「世界水フォーラム」の開会式では、英語でお言葉を述べられるなど、天皇陛下のご名代として立派にお役をつとめられたことは誠に喜ばしく、今後益々皇室のご安泰を祈念申し上げる次第です。

さて、中東ではイラクのフセイン政権が三週間の短期で崩壊し、戦後復興に力が注がれていますが、イラクの真の平和を構築するには相当な年月と困難が予想されます。各国が各々利害を越えて援助する事が重要ではないでしょうか。世界中の人々が国を超え宗教を超えてお互いに手を結び、共存共栄の精神で世界平和が実現出来るよう切望するのみです。このように世界情勢が混迷を続けている状況において、我々は現在不況状態ではありますが、平和な日本に生まれ育つたことを心から感謝すべきでしょう。

最後になりましたが、皆様方には御首の大神様の御神徳を漏れなく受けられ、益々の御健勝とご多幸を祈念致しましてご挨拶とさせて頂きます。

『信仰と精神修養』

世の中で、えらい人と云うのと立派な人と云うのがあります。えらい人と云うのは知恵と才能があり、一般社会からみて、財力や地位が高くて、どんどん出世をした人のことです。立派な人とは、心のよく出来た人のことで、必ずしも社会的地位や立場には関係がありません。

ところで現代人は、えらい人になりたい者が多くて、立派な人になりたいと云う人は少ないようです。女性でも同じで、スタイルをよくしたり、おしゃれをして自分の身を着飾ったりすることには非常に熱心ですが、自分から進んで心を美しくしようとする人は少ない息ものであります。

近頃の会社では、新入社員をお寺に合宿させ、座禅をしたり、宗



教講義を聞かせたりするところが増えてきました。社会人として第一歩を踏み出す前に、精神修養をさせようと云うのです。この精神修養と云うのは、えらい人よりも立派な人をつくらうというのが目的であります。

最近の雑誌やテレビには、面白い番組がいっぱい出ているが、ためになる雑誌や放送はあまり人気がありません。ためになるというのは、それによって有益知識を得るとか、人間として知っておくべき教養を学ぶことですが、もう一つは立派な心をつくる上で、ためになるという意味があります。この心をつくる手段の一つに宗教書があります。昔から優れた人はたいいてい何か宗教書を愛読し、自分の心の反省に役立てようとしたもので、現代でもそういう人は多い人の上に立って指導してゆこうとするならば、人並み以上の才能とともに優れた人格と立派な心が必要になる訳です。人間的に徳がなければ、いくら社長や部長と云う偉い人になっても部下の心をつかむことはできません。財力があり、世の中の人から成功者といわれても家庭の中で子供にさへ軽蔑され、憎まれている人もあります。これはえらい人ではありませんが、立派な人とは言えません。

南極大陸の様子はカラー写真や記録映画で紹介されているので誰でも知っています。そこでは零下五十度〜六十度だと云う。しかしそれをいくら聞いても、直接自分が南極へ行つて体験しない限り、その寒さというのはピンとこないものです。又、松坂の牛肉は美味しいというけれど、話を聞いただけではちっともうまくはない。実際に口にしてみてはじめて、成る程うわさ通りのことはあるということになります。

見て成る程、聞いて成る程、というのは観念の世界であり、他人事にすぎません。自分で体験し、おこなって成る程と納得してはじめて自分のものとなる訳で、信仰の場合は特にそれが大切です。

宗教書を読んで「腹を立てると寿命が縮む」と書いてあったとしよう。よいことを教えてもらった、これからは腹を立てないようにしようと思っていたその時、子供がボールで花瓶を割ってしまった。

つい「こら！」と怒鳴ってしまったたり、近くのお寺で有難いお説教を聞かせてもらったが、しかし一步外へ出るともうすぐ嫁の悪口を云っている。これでは何の為の信仰かわかりません。

心を自分の理性や意志の力でコントロールしようと努力してゆくのが精神修養であります。これは自分の気ままな心を制して欠点を正してゆこうとするものですが、実行となるとなかなか難しいものです。人間は他人を支配することは容易ですが、自分の心を上手にコントロールすることはなかなか出来ません。何千人という社員をあごで使う社長でも、自分の腹立った心一つも治めることの出来ない人が多いのです。こういった心遣いを毎日反省し、立派な心を養ってゆくと信仰の値打ちがあるのです。

人の心は喜怒哀楽やその他多くの感情に支配されて生きています。これは修養によって自分の心を治めてゆくのが一番よい方法なのです。しかし場合によっては自分の意志や努力だけでは解決出来ないこともあります。人間の心は深い淵のように、自分の力だけではどうしようもない事柄があります。これをキリスト教では「原罪」と云い、仏教では「業」(ごう)と云っていますが、こういう人間の力で左右出来ないものを治めてくれるのが神さまであり、信仰の力なのであります。

人間はこの世に生まれて来た以上誰でも死を迎えなければなりません。いくら注意をしても「病氣」になり、命を落とすこともあり、転んで打ちどころが悪く、頭を打って死ぬこともあります。早かれ遅かれ、確実に死は近づいてまいります。だとすれば如何に充実した人生を送ることができるかを考えることのほうが得策ではなからうか。二度とない人生であるがゆえに「死」は誰もが厭うものです。悔いのない人生を送れば、決して死を恐れることはないのです。

私たちは、ともすると安易な人生を選択しやすいものですが、信仰の力によって不動の精神を培い、将来を通しての幸福と末広がりの人生を送りたいものです。

梶宜 上松 雅之

ちよつと一言

こんにちは、社務所より一言申し上げます。

社務所の受付で、「お稲荷さんの幟を奉納しました。毎月お参りをしていきますが、奉納した幟がどこにも見あたりません。」と云うお尋ねがよくありますが、幟の取り替え時期についてご説明申し上げます。

当神社の境内にお祀りしている末廣稲荷神社の「のぼり」はお正月の前と八月第一日曜日(今年は第二日曜日)の例祭の前に取り替え致しております。

此の幟は、一般崇敬者の皆様が奉納されたものであります。奉納された幟には、ご自分で住所・氏名をお書き頂いておりますが、ご希望により染め抜き(五対以上)も出来ます。又、台風や不慮の災害により破損したもののや、汚れがひどくなつたものはその都度取り替えさせていただきます。

尚、此の夏に取り替え予定の職の数が若干不足致しておりますので、奉納ご希望のお方は一対金三千円で御座いますので社務所受付までお申し出下さい。

梶宜 高田 豊彦



祭事報告

- ▼年越大祓 十二月三十日午後三時
- ▼元旦祭 一月一日午前〇時
- ▼左義長 一月十五日午前十時
- ▼浄火祭 二月三日午前十時

神事は、宮司以下祭員五名並びに厄男（氏子区域内に住む今年厄年に当たる男性）四名と氏子総代のご奉仕により斎行されました。当日は、一年間に亘り御神前に奉納された金幣串・絵馬・帽子又、返納された紅白串を忌み火にて無事お焚き上げをし、一同真心を込めて心願成就を願いました。



- ▼祈年祭 二月十三日午後三時
- ▼御鞆神社例祭 三月十七日午後三時



▼例祭 四月二日午後三時
当日は夜半からのあいにくの雨が残り、天候には恵まれず、子供神輿の巡行を見合わせる場面もございましたが、大神様のご神徳により祭典開始前には雨も止み、時折雲の聞から日が差す中で、無事例祭を奉仕することが出来ました。

- ▼お田植え祭 六月五日 午後三時
 - ▼南宮神社例祭 五月四日 午後三時
 - ▼南宮神社例祭 五月五日 午後三時
- また、雨天にも拘わらず各地より多数の崇敬者のご参拝があり、ご祈禱をお受けになれる方々で終日賑わいを見せておりました。

厄除開運祈禱

男子 大厄 二十五歳・四十二歳
女子 大厄 十九歳・三十三歳

古来より「大厄は諸々の災難、身体の変調のがれ難し」といわれ、年回りに当る方のみならず御家族にまでも災禍が及び、何かとままならぬことが多くなります。前後三年間に渡り忌み慎まなければなりません。御祈禱を受けられ、毎日を平穩に過ごしましょう。

平成15年厄年に当る生れ年				
		前 厄	本 厄	後 厄
男子	42歳	昭和 38年	昭和 37年	昭和 36年
	25歳	昭和 55年	昭和 54年	昭和 53年
女子	33歳	昭和 47年	昭和 46年	昭和 45年
	19歳	昭和 61年	昭和 60年	昭和 59年

権禰宜 大野 弘樹

月次祭について

全国の神社でのお祭りは「例祭」を始めとして一年を通じ、大きささまざまなお祭りが執り行われていますが、その中の一つに月次祭があります。

『月次祭』正しくは「つきなみのみまつり」と読み、「月並み」つまり、毎月のお祭りという意味で、その成立は諸説ありますが、史料上の初見は『続日本紀』文武天皇大宝三年（七〇三）七月に、日照りによる雨乞いを契機として行われたとされていますが、時代が下るに従って定期的に行われるようになったものと思われまます。

月次祭とは、朝夕に神様のご神徳で命を繋ぎ、生活出来ることに感謝申し上げると共に往く先長いご守護を願う、その気持ちを月ごとに「かたち」に表したものです。

因みに、当社では昔から毎月一日と二十日に月次祭を執り行い、日々の感謝を申し上げますと共に、皇室の弥栄と国民の繁栄、更に氏子・崇敬者の生業繁盛並びに子孫の繁栄を祈願いたしております。

月次祭は、会社では主に営業上の安全と作業の向上・商売繁盛などを祈願するところが多くあります。

各ご家庭に於かれましても、神さまをお祀りされているところが大半でしょうが、神様に感謝の気持ちを真心籠めて申し上げる日、

例えば、会社では創立の記念日など、一般家庭では神棚を設けられた日など、神様にご縁のある日を選んでいただき、お近くの神職に依頼されて、月次祭の執行をおすすめいたします。

お供え物につきましても、平日のお供えの米・塩・水に加えて海産物・山菜・野菜・果物・その他珍しい物など、真心のこもった品物をお供えして感謝の気持ちを神さまにお伝えしてください。

尚、当社におきましても、近隣の会社やご家庭に向いての月次祭を行っておりますので、社務所へお尋ね下さい。

権禰宜 大島 洋紀



崇敬会入会の御案内

入会の方法

御首神社の御神徳に感謝し当社を崇敬される方は、どなたでも入会出来ます。御参拝の折、社務所にてお申し出下さい。尚、郵便にても受付出来ますので、申込用紙を御請求頂ければ、お送りさせて頂きます。お申込されますと、神前にて入会報告祭が執り行なわれ、会員証・認定状等が交付されます。

会員の特典(抜粋)

- 一、神前に入会報告祭が執り行なわれます。
- 一、誕生日には特別祈禱が行なわれ、御祈禱神符が授与されます。
- 一、春の例大祭、秋の崇敬会大祭には御案内申し上げ、参拝の方々には大祭特別祈禱神符及び御供物等が授与されます。
- 一、夏越大祓、年越大祓には御案内申し上げます。
- 一、参拝の折、会員証を御呈示になられますと、会員は昇殿参拝が許されます。

新入職員挨拶

この春から御首神社でご奉仕させて頂くことになりました永井雅和です。これまでに学んできた事を活かしながら新しい事を学んでゆき、神明奉仕を第一として、立派な神職になれるよう努力を致しますので、宜しくお願ひ申し上げます。



出仕 永井 雅和

祭事案内

▼農休み祭 六月二十二日午後三時
 ▼西宮神社例祭 七月 十七日午後三時
 ▼末廣稻荷神社例祭 八月 十日午後三時
 ▼夏越大祓 八月 十日午後三時半
 古くから、夏越大祓は「水無月の夏越の祓へする人は千歳の命延ぶといふなり」と詠われていきますように、日々の生活の中で知らず知らず、心と身体についてしまった罪や穢れを人形に移して、厄災から逃れて健康と幸福を得むとするものであります。
 当日「茅の輪くぐり」の神事は午後五時頃まで行っておりますので是非ご参加下さい。



人形につきましては、神社にございますので自由にお持ち下さい。
 人形は一人一枚が原則ですので、不足の場合は各自奉製願います。
 尚、七月二十五日迄に、郵送又は社務所迄ご持参下さいますようお願い申し上げます。

人形（ひとかた）について

- ◎ 自分自身の身代わりとして 人形に罪穢れを託す
- ◎ 人形で身体を撫でる
- ◎ 息を三度吹きかける
- ◎ 住所・氏名・年齢・性別をお書き下さい

▽長寿祈願祭 九月 十五日午後四時
 ▽神明神社例祭 十月 十七日午後三時
 ▽七五三参り 十一月 一日〜三十日
 七五三参りは、子供の成長に節目をつけてその年齢まで無事に成長できた事を大神様に感謝申し上げますと共に、今後のお護りをお願いするお祭りであります。
 古くは、男の子は五歳、女の子は三歳・七歳にてお祝いされておりましたが、現在では男女共に三歳・五歳・七歳にて参拝される方々も多数お見えになります。
 当社では、七五三の御祈禱を十一月一日より三十日まで、毎日午前九時から午後五時まで随時執り行います。
 ご家族お揃いでのご参拝を、心よりお待ちしております。



▼崇敬会大祭 十二月 三日 日午後二時
 崇敬会会員のご家族の皆様、無病息災・家内安全・生業繁栄並びに子孫の繁栄をご祈願申し上げます。一度の大祭です。
 参列されたお方には、一人一人のお名前をご神前で報告いたし、ご祈願申し上げます。
 祭典後全員の方に「ご神符」が授与され、金幣を献つて頂きますので多数のご参拝下さい。
 ▼新嘗祭 十一月二十三日午後三時
 権禰宜 大野 弘樹

御首神社社務所

岐阜県大垣市荒尾町一二八三の一
 TEL(〇五八四)九一―三七〇〇
 ホームページ www.mikubi.or.jp
 Eメール syannusyo@mikubi.or.jp